

# 衆議院決算行政監視委員会ニュース

平成 25. 6. 3 第 183 回国会第 4 号

6 月 3 日（月）、第 4 回の委員会が開かれました。

- 1 ①平成 21 年度一般会計歳入歳出決算  
平成 21 年度特別会計歳入歳出決算  
平成 21 年度国税収納金整理資金受払計算書  
平成 21 年度政府関係機関決算書
- ②平成 21 年度国有財産増減及び現在額総計算書
- ③平成 21 年度国有財産無償貸付状況総計算書
- ④平成 22 年度一般会計歳入歳出決算  
平成 22 年度特別会計歳入歳出決算  
平成 22 年度国税収納金整理資金受払計算書  
平成 22 年度政府関係機関決算書
- ⑤平成 22 年度国有財産増減及び現在額総計算書
- ⑥平成 22 年度国有財産無償貸付状況総計算書
- ⑦平成 23 年度一般会計歳入歳出決算  
平成 23 年度特別会計歳入歳出決算  
平成 23 年度国税収納金整理資金受払計算書  
平成 23 年度政府関係機関決算書
- ⑧平成 23 年度国有財産増減及び現在額総計算書
- ⑨平成 23 年度国有財産無償貸付状況総計算書

・麻生財務大臣、新藤総務大臣、下村文部科学大臣、茂木経済産業大臣、小野寺防衛大臣、菅国務大臣（内閣官房長官）、山本国務大臣（科学技術政策担当）、甘利国務大臣（経済再生・経済財政政策担当）、稲田国務大臣（行政改革担当）、浜田復興副大臣、江藤農林水産副大臣、政府参考人、衆議院事務局当局、参議院事務局当局及び国立国会図書館当局に対し総括質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

## 秋本真利君（自民）

- ・原子力規制委員会は、原発の利害関係者からの不当な圧力等を防止するためにも独立性が重要であると考え、経済産業大臣の見解を伺いたい。
- ・RETF（リサイクル機器試験施設）が有効活用されおらず、改善すべきと考えるが、文部科学大臣はどのように考えているか。
- ・核燃料サイクル事業から一刻も早く撤退すべきと考えるが、経済産業大臣の所見を伺いたい。

## 武村展英君（自民）

- ・衆議院決算行政監視委員会では決算審議が遅れているが、衆議院、参議院における決算審議及び議決の状況を、参議院については議決方式を改めた経緯を含めて説明していただきたい。
- ・国の財務書類及び会計システムに関し、発生主義、複式

簿記による財務報告についての現在の日本の状況と諸外国（米英仏独）の状況を説明していただきたい。

- ・財務書類において、インフラ資産の把握、整理がとても重要と考えているが、財務省の見解を伺いたい。

## 伊藤涉君（公明）

- ・震災復興に関して、いわき市等の避難者、復興作業員の受け入れ自治体では住宅不足、交通渋滞、震災ゴミの増加などの問題が発生しているが、受け入れ自治体への財政支援状況について伺いたい。
- ・海事行政について、安全保障上一定数確保することが大切である日本籍船や日本人船員が減少しているが、いっどのように減少していったのか。
- ・日本籍船及び日本人船員の増加を成長戦略にすべきと考えているが、財務大臣の所見を伺いたい。

## 玉 木 雄一郎君 (民主)

- ・独立行政法人の予算執行状況の適正性は誰が判断するのか財務大臣に伺いたい。
- ・日本原子力研究開発機構における競争入札で関係法人の二者応札が行われ、入札の適正性が阻害されているおそれがあることについて、政府の見解を伺いたい。
- ・放射性廃棄物の最終処分場選定及び福島第一原子力発電所事故の賠償スキーム等に対し国の関与を増加させるべきではないかと考えるが、経済産業大臣の所見を伺いたい。

## 辻 元 清 美君 (民主)

- ・安倍政権における村山談話及び河野談話の継承の有無について伺いたい。
- ・歴代内閣は、いわゆる従軍慰安婦に関する政府による調査報告書に基づいて答弁を行ってきたと考えるが、官房長官の所見を伺いたい。

## 河 野 正 美君 (維新)

- ・生活保護の支給額が多額になっている中において、生活保護を不正に受給する例が後を絶たないが、政府としては、どのような不正受給防止策を講じているのか伺いたい。
- ・地上デジタル放送を導入する際、低所得者に対しては国が無償で必要な機材を配布したとのことだが、どのような方法で行ったのか、その結果、全ての家庭で地上デジタル放送を見るようになったのか、政府に伺いたい。
- ・少子高齢社会である我が国では、医療ニーズが高まっており、それを支えるためには人材の確保が必要であるが、国として医療体制を充実していくことについて財務大臣の見解を伺いたい。

## 田 沼 隆 志君 (維新)

- ・現在「勤労感謝の日」である11月23日を、戦前の「新嘗祭の日」に戻すべきと考えるが、官房長官の見解を伺いたい。
- ・決算参照書として国会に提出された書類の計数に誤りがあった件についてはあつてはならないミスだと考えるが、再発防止策を含めた財務大臣の見解を伺いたい。
- ・教育行政について、現行の教育委員会による指導行政を改めて、学校長に権限を下ろすべきではないかと考えるが、文部科学大臣の見解を伺いたい。

## 三 谷 英 弘君 (みんな)

- ・平成24年12月に行われた衆議院議員選挙における1票

の格差は最大で何倍か。また、この格差は0増5減の公職選挙法改正案によりどうなるか。さらに、参議院議員選挙における1票の格差は依然として高水準にあるが、これについて総務大臣はどのように考えているか。

- ・高速増殖炉もんじゅについて、これまでの開発経費の予算総額及び停止状態での1日当たりの維持管理費はいくらか。高速増殖炉もんじゅについては、1万点の点検漏れや活断層が見つかるなど問題山積であり、核燃料サイクル計画を中止すべきではないか。
- ・総エネルギーに占める再生可能エネルギーの割合や電気料金について、日本と再生可能エネルギーで先行するドイツを比較すると、どのようになっているか。

## 吉 川 元君 (社民)

- ・アベノミクスにおける3本の矢と3段ロケットといわれた麻生政権時代の経済対策との違いは何か。
- ・企業収益の改善が賃上げに結びついていないのはなぜか。政府としては、労使交渉における労働者側の交渉力を高める政策を行っていく必要があると思われるが、これについての経済再生担当大臣の見解を伺いたい。